

もっと自分らしさを

—第5学年前期「見つめよう自分を」—

今村昌禎

1. はじめに

子どもたちにとって3年目の「自分タイム」、私にとっては初めての「自分タイム」。そこで、子どもたちにはどのように「自分タイム」がイメージされているのか実践に入る前にアンケートをとってみた。

自分タイムとは？

- ① 自分が「？」と思うことや興味があることをテーマ（課題）にする。
- ② いろいろな方法（インターネット、本、実験、実際に活動など）で一人で調べる。
- ③ みんなに知ってもらったり楽しんでもらうために、いろいろな手だてで発表する。



この学習を通して、自分が興味あるものを見つけ出したり、？を解決したりすることにより、自分に役立たせる。

このアンケート結果をもとに、「自分タイム」を次のように構成し、オリエンテーションで子どもたちと確認し合ってから実践していった。

- ① テーマタイム＝自分が「？」と思うことや興味があることをテーマにする。
- ② 追究タイム＝いろいろな方法（本、インターネット、電話、実験、実際に活動、見学など）で一人で調べる。
- ③ 表現タイム＝みんなに知ってもらったり楽しんでもらったりするために、いろいろな手だてで発表する。
- ④ ふり返りタイム＝自分タイムをふり返り、自分が興味あるものを見つけだせたか、「？」を解決できたかなど、自分にとってどうだったか考える。

2. 実践の概要

(1) 活動の計画（全12時間）

活 動	時間	主 に 大 切 に し た い 力
オリエンテーション	1	・活動への意欲・関心
テーマタイム	2	・自分の責任で自分の課題を決定する力 ・課題解決への見通しを持ち計画する力

追 究 タ イ ム	6	・集中して活動する力 ・情報を選択し処理する力 ・計画を修正する力
表 現 タ イ ム	2	・自分なりに工夫して表現する力 ・友だちの活動を評価する力
ふ り 返 り タ イ ム	1	・自分の活動をふり返る力 ・次の課題へと向かう意欲・関心

(2) 活動の概要

テーマタイム 自分らしさを見つめられる追究テーマ	おもしろ いめづる テーマか?	追 究 の 方 法			表現タイム
		使ったもの	利用した場所	協力者	表現の方法
1 野球の歴史	○	本:朋「カブファン」	図書室	元カープファンの母	本づくり
2 戦争のすべて	○	インターネット&本	図書館, 防空壕, 陸軍飛行場	戦争経験者	ノート展示
3 Jリーグのはじまり→環境ホルモンとダイオキシン	×	インターネット&本	コンピュータ室, 図書室		ノート展示
4 モンスターファーム2のモンスターの種類	○	本	家		ノート展示
5 天気のみみつ	×	インターネット&本	図書室, コンピュータ室, 家		ノート展示
6 大きな飛行機がなぜ飛べるのか	○	インターネット&本	羽田空港, 図書室, コンピュータ室		ポスターづくり
7 ロボットの研究	○	本&インターネット	コンピュータ室, 図書室		ノート展示
8 野球の昔の名選手	○	本:朋「カブファン」&新聞	図書室, 家	友だち	本づくり
9 浦安鉄きん家族の人物	○	浦筋のマンガ22巻	家		ノート展示
10 ブラックホールの真実	○	本&インターネット	家, 図書室, コンピュータ室	宇宙に詳しい父	図に書いて展示
11 ゲームソフトのしくみ	○	本&インターネット	図書室	父	ノート展示
12 カードゲームの種類・勝つ方法	○	カード&インターネット	コンピュータ室, 友だちの家	友だち	展示
13 GB (ゲームボーイ) の最新情報	○	自分のカード	コンピュータ室	友だち	展示
14 トキのすべて	○	インターネット&本	コンピュータ室, 図書室		クイズ
15 いろいろな種類のボールの投げ方や打ち方	○	本			ノート展示
16 カードゲーム→外国の淡水域に生息する魚	×	魚の図鑑	家		ノート展示
17 映画人 (アーノルドシュワルツェネッガー)	○	本	アメリカ, 家	父	ノート, 雑誌展示
18 アニメーションの映像の作り方	○	本	図書室		紙芝居で発表
19 トキのいろいろ	○	本&インターネット	家, 図書室, コンピュータ室		本づくり
20 芸能人のプロフィール	×	インターネット	コンピュータ室		ノート展示
21 携帯電話&PHSのしくみ	○	PHS, 本, インターネット	図書室, 図書館, コンピュータ室	母, 図書館の人	ノート展示, 本作り
22 犬の病気の見分け方や予防のしかた	○	インターネット&本	コンピュータ室, 図書室	母	ノート展示
23 芸能人のプロフィール→歌手になるためのマル秘	○	雑誌&インターネット		近所の友だち	画用紙に書く&掲示
24 猫の正しい育て方	○	本	図書室	母	新聞づくり
25 星や月のしくみ	×	本&インターネット	南区の図書館, コンピュータ室		ノート展示
26 FAINAL FANTASYⅧの攻略法, うち技	×	インターネット&本, 雑誌	コンピュータ室, 本屋		本づくり
27 芸能人のプロフィール→服の歴史	×	インターネット&本	図書室, コンピュータ室	友だちのお母さん	画用紙にまとめ発表
28 犬の体のしくみや生活のしかた	○	インターネット&本	図書室	母	新聞づくり
29 キャバリア=キング=チャールズ=スペイン	○	インターネット&本	コンピュータ室		図鑑にまとめ展示
30 犬の長生きする飼い方→ゴールデンレトリバー	○	インターネット&本	家, 図書室, コンピュータ室	妹	本
31 アイドルのプロフィール→服の歴史	×	インターネット&本	図書室, 図書館, コンピュータ室	母	画用紙にまとめ発表
32 芸能人のプロフィール→ベタの飼い方	×	インターネット	コンピュータ室		ノート展示
33 猫のいろいろ	○	インターネット&本	コンピュータ室		本にして展示
34 パンの種類や歴史など	○	本	図書室, 家	母	本づくり
35 日本海側が寒く, 太平洋側が暖かいのはなぜ?	○	インターネット&本	図書室, コンピュータ室	母	新聞にして発表
①スポーツ・芸能関係=6 ②動植物関係=10 ③自然科学・社会関係=10 ④趣味・遊び関係=5 ⑤その他=4	○=26 ×=9	①インターネット=24 ②本・雑誌=30 ③実物=4	①コンピュータ室=21 ②家=11 ③図書室・図書館=22 ④現地=3	①家族=12 ②友だち=4 ③詳しい人=3	①ノート展示=15 ②ほかの掲示=17 ③発表=4

3. 実践のふり返り (成果=◇, 課題=◆)

子どもたちの学習の様子や子どもたちのふり返りをもとに, 今回の取り組みをふり返っていく。

(1) テーマタイム (課題設定, 計画)

◇ ほとんどの子どもたちは, 自分が決めたテーマを追究して, 今までの自分や新しい自分を見つめることができていた。

◆ 内容の難易度や時間的なものを考えてみて, テーマが自分に合っていたかどうかはあまり満足していなかった。課題設定の際の支援をきめ細かいものにしていきたい。設定の難しい子どもには, 教師側から幾つかの課題を提示してもいいように思う。

- ◆ 追究の計画を立てる際に、調べることだけを考える子どもが多かった。追究したことを自分のものにして役立たせたりするために、「創る」「極める」ことにもチャレンジするようにし向ける必要がある。追究がもっと充実したものになるだろう。

(2) 追究タイム

- ◇ インターネットを利用することに少し手間取っていたが、いろいろな情報を上手に収集し、利用していた。
- ◆ 収集した情報が多く、選択して利用することがあまりできず、収集した情報に振り回されていた。単に情報を切り貼りするだけで、自分の考えや思いをその中に組み入れることができなかった。本当の情報処理能力を身につけられるように、きめ細かい支援が必要である。
- ◆ 追究活動で利用した場所のほとんどは、コンピュータ室・図書室図書館・家で、協力者のほとんどは、淋しいことに家族であった。より深くより広い追究をしていくために、詳しく追究できる場所に赴き、その人としっかりと語り合うことを大切にしていきたい。たくさんの情報が手に入るだけでなく、新たな「？」が生まれ、幅広い追究に発展していく可能性がある。

(3) 表現タイム

- ◇ 廊下の展示コーナーや発表する機会を設けて、学年の枠を越えた人々から評価してもらうようにしたので、自分の取り組みを冷静に振り返る材料になったり、後期の取り組みの励みになったりしていた。
- ◆ 追究したことを単に学校内だけに表現するのはもったいない。表現対象を内容に応じて、学校外に発信していてもいいのではないだろうか。そうすることにより、自分との関わりを自覚したり、いろいろな考え方に触れられたりできる。
- ◆ 計画段階からきちんと内容に応じた表現対象を決めていれば、意欲的になったり、自分に厳しくなったりすることができる。

【表：子どもたちのふり返りの結果】

	自分にあっ たテーマか (難易度・時間)	自分のため になったか (自分を見つめらた)	追究活動は計画通りにいったか			みんなが分 かるように 表現したか
			使ったもの	利用の場所	協 力 者	
バッチリ	20.0%	77.1%	51.4%	35.2%	33.3%	17.1%
まあまあ	37.1%	X	37.1%	32.4%	14.8%	34.3%
まだまだ	42.9%	22.9%	11.5%	32.4%	51.9%	48.6%

4. おわりに

前期の取り組みのふり返りに基づいて、後期「広げよう深めよう自分を」に取り組んでいる。やはりポイントは、自分らしさを追究できる課題設定・学校外での追究活動・幅広い表現対象である。確かに一人ひとりが自分に合った課題を追究していくのが理想であるが、まだ子どもも教師もその段階ではないように思う。課題選択の条件の見直し、学習過程で身につけるスキルの明確化、追究のグループ化と支援体制づくり、自分のためだけに追究するだけでいいのかなど、まだまだ課題が山積みのように思われる。表面的な楽しさに包まれた学習にとどまらず、もっと自分らしさを厳しく追究することができる「自分タイム」に成長していきたい。